

レジメン名

mFOLFOXIRI+BV

適応疾患:大腸がん

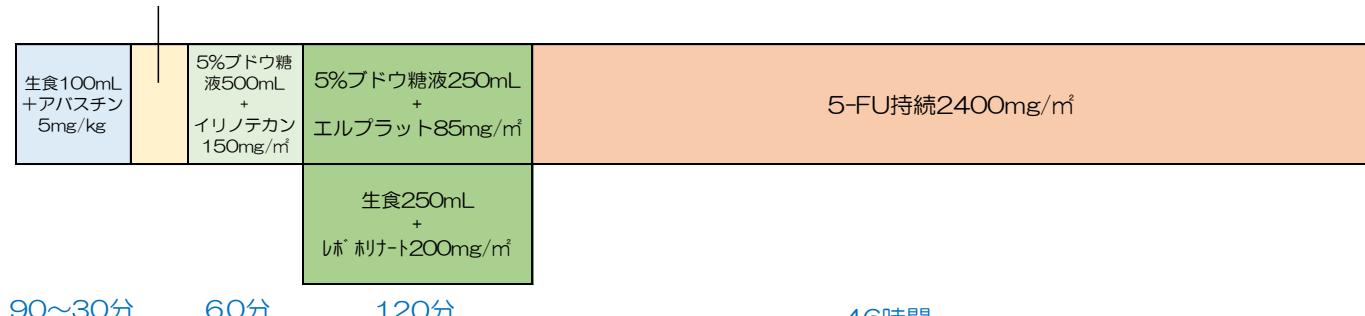
1クール:14日

総コース:可及的

薬品名	投与量	投与方法	1日目	—	—	—	—	14日目
アバスチン	5mg/kg	点滴(90~30分)	●					
イリノテカン	150mg/m ²	点滴(60分)	●					
エルプラット	85mg/m ²	点滴(2時間)	●					
レボリナート	200mg/m ²	点滴(2時間)	●					
5-FU 急速	400mg/m ²	点滴(5分)	●					
5-FU 持続	3000mg/m ²	点滴(46時間)	●					

1日目 2日目 3日目

アロキシ静注バッグ1袋+デキサ-ト9.9mg



発現する可能性のある副作用	副作用に対して注意すること
過敏症	熱感や痛み、かゆみ、発疹、息苦しいなどの症状が出た場合は、すぐに周囲にいるスタッフに伝えてください。
食欲不振	食事はあっさりしたものがおすすめです。消化の良い物を選びましょう。
恶心・嘔吐	処方されている吐き気止めはしっかり服用しましょう。頻繁に恶心・嘔吐が起こる場合は、すぐに受診しましょう。
口内炎	口内を清潔に保つことが大切です。柔らかい毛の歯ブラシを選び、きちんと磨きましょう。
下痢	脱水を避けるために、十分な水分摂取を心がけましょう。
倦怠感	十分な休息・睡眠をとりましょう。無理をせずに周囲の人と相談しましょう。
脱毛	頭皮を清潔に保つためにきちんと洗髪をしましょう。
白血球減少	外出後などの手洗い、うがいをしっかり行いましょう。人ごみを避け、外出する時はマスクを着用しましょう。
血小板減少	血が止まりにくくなったり、出血しやすくなったりします。歯ブラシは柔らかいものを使い、鼻をかむときは強くかまないようにしましょう。
しひれ	箸が上手く使えない、字が上手く書けない、新聞がめぐりにくいなどの症状が出現する場合もあります。
高血圧	自宅で血圧の定期的な測定が推奨されます。高くなる場合はスタッフにお伝えください。
出血傾向	出血し易くなったり、傷の治りが遅くなったりすることがあります。
蛋白尿	尿中に蛋白が出るようになります。

注意点: 氷や冷たい飲み物・食べ物は避けてください。